

アンケート集計から見てきた、自己分析

○保護者からの集計分析について

大半の利用者さんには、満足をしてもらえる支援を提供できていると感じるが、「保護者への説明等」の「障害のない子どもとの交流する機会があるか」の項目については、昨年度に比べ提供する機会を設けられていなかった。その要因としては、コロナウィルス感染拡大防止の観点から控えていたこと、以前から利用して下さっていた子ども達が退所したことにより、「どちらとも言えない」が多くなったと考えております。今後の対策として、コロナウィルスの終息、あるいは特効薬の開発が進み、安心して安全な環境が保証されてから、提供する機会を設けていきたいと考えています。「保護者同士の連携が支援されているか」の項目について、保護者会の開催を企画段階中で、昨年度と今年度において開催できていないが、会の方向性や日程等が決まり次第、年に2回以上は開催したいと考えています。

次に「環境・体制」について、「バリアフリー化の配慮」は必要に応じて行っているが、肢体不自由児が利用する事を前提に設計されている建物ではないため、知的障害のある子ども達が安全に過ごすためのバリアフリー化を目指していきたいと考えています。「職員の配置数や専門性」について、配置人数は基準の倍以上で対応をしているが発信が弱かった可能性があります。また専門性については、他業種を経験している従業員が多く、研修の機会を設けながら、専門性を高め、安心して利用してもらえる事業所を目指していきます。

次に「非常時等の対応」について、周知しきれていない項目もあるため、保護者に向けた手紙を作成し、非常時に事業所の動きが分かるように周知していきたいと考えております。

次に「満足度」について、残念ながら100%ではなかったが87.5%で満足してもらっている。しかし、そうでない方（特に「通所を楽しみにしている」という項目）については、どうしたら、利用を楽しんでもらえるようになるのかを従業員全体と考え、子ども達や保護者に相談をして方針を決めたいと考えています。

○従業員からの集計分析について

「環境・体制整備」に関して、「事業所のバリアフリー化」の項目は、先に述べた通りとなります。

次に、「業務改善」に関して、「自己評価結果の公開」の項目は、今回のアンケート結果を取りまとめたものを公開する予定です。「外部評価」については、現在行っていないため、今後必要に応じて、外部に依頼する予定です。「研修の機会を確保しているか」の項目については、昨年度までは在職していた従業員が一変してしまったため、新規採用した従業員はコロナウィルスの影響もあり、社内での研修のみになっています。

次に、「適切な支援の提供」に関して、「活動プログラムの立案をチームで行っているか」の項目は現在一人がスケジュールと企画内容を組み立て、内容についてチームで話し合いを行っています。「平日、休日、長期休暇に応じて課題を細かく設定しているか」に関しては、

大まかには決まっているが、事細かには決められていない事もあるため、支援会議などを通じ必要に応じて決めていきます。「基本活動を組み合わせて支援を行っているか」について、1 か月単位で利用している全ての子が全種類の活動を体験できるようにプログラムを組んでいます。ただ、外出活動についてはコロナウィルスが終息、または特效薬ができるまでは控えていく予定です。

次に「関係機関や保護者との連携機関や保護者との連携」について、「担当者会議に参画しているか」の項目は、前年度は開催されていた為参画していたが、今年度はコロナウィルスの影響から開催もされていない為、「はい」が少なかったと考えています。「主治医との連絡」に関しては、医療的ケアを必要としている子を受け入れていないため、行っていません。「就学前の児童に対して、他事業所等と情報共有と相互理解に努めているか」については、ご家族との情報共有を優先してしまっていた為、行っていません。来年度以降は積極的に情報共有や相互理解に努めて参ります。「障害のない子との交流」については、上記で述べているため、割愛します。「保護者へのペアレントトレーニング等の支援を行っているか」については、送迎時に保護者から相談を受けた場合に行っており、その都度全職員で相談内容の共有していますが、その事をペアレントトレーニングとは伝えていなかった為、この機会に専門的な用語について職員に周知する場を提供していきます。

次に「保護者への説明責任等」について、「保護者会」については、上記で述べているため割愛します。「苦情解決」について、現在は苦情が入っていないが、以前に入った際には親御さんの立場に立って、謝罪と今後の対応を説明し納得したもらえるようにしてきました。「地域に開かれた事業運営」について、昨年度までは自治会の行事に参加させてもらったり、地域のお祭りに参加していたが、コロナウィルスの影響から今年度は参加できていません。

次に「非常時等の対応」について、「虐待防止の研修参加」について、昨年度は行っていた外部研修が開催されておらず、事業所内では虐待防止の研修は行っていない。「身体拘束の説明」について、契約時に必ず行っているが、今年度から雇った職員に対して説明をしている事を伝えていなかった為、支援会議を通して説明をしていきます。「食物アレルギーに対して医師の指示書に基づいているか」について、親御さんからの聞き取りのみとなっている為、必要に応じて医師に指示書を書いてもらえるようにしていきます。「ヒヤリハットの事例集作成」について、事故報告書の事例集は作成しているが、ヒヤリハットの事例集は作成できていません。早急に、作成していきます。